

様式 1

令和 7 年度 学校評価報告書 1

計画段階

実施段階

学校名			福岡市立 福岡女子 高等学校			学校経営方針・学校教育方針			今年度の重点目標			評価（総合）	
学校長	ふりがな	おおす りゅういちろう	1 教育目標 教育基本法に則り、急速に進展する国際化・情報化などの社会的変化に対応し、生涯にわたって主体的に生きるための人間力を培う。 2 めざす学校像・生徒像 【学校像】相互に認め合い高め合う温かい信頼関係の中で、安心して個々の個性や能力を最大限に発揮しチャレンジすることを通して、豊かな心と未来を生き抜く力が育まれる学校 【生徒像】自他を重んじ、生涯にわたって豊かに生きるために学びを深め続けていく生徒 3 スクールポリシーに基づく取組の推進 校内での共通理解、共通実践とともに、中学校への広報や個別の説明等に努め、スクールポリシーの浸透と実現にアプローチする。			1 本校独自の特色化・魅力化の推進 本校独自の魅力化の推進（創立100周年及び学科改編・共学化に向けた取組） 【家庭科】社会の変化に対応し、衣食住、保育、介護などのヒューマンサービスに関わる生活産業のスペシャリスト育成に資する学科の在り方やカリキュラム等の検討・準備 【国際教養科】アジアのリーダー都市に相応しい国際感覚に富む人物の輩出をめざし、帰国生徒の受け入れや姉妹校交流、海外語学研修などを通して、グローバル社会で活躍できるスペシャリスト育成に資する学科の在り方やカリキュラム等を検討・準備 【普通科】急速に進展する国際社会・情報化社会などの社会の変化に伴って変容する生徒の進路希望に対応していくため、看護進学コース及び普通コースの充実を図るとともにその在り方やカリキュラム等の検討・準備 2 キャリア教育の充実と男女共同参画社会で活躍できる人物の育成 ・キャリア教育融合型総合的な探究の時間の充実 3 人権教育の推進 ・組織のないじめの未然防止 ・互いの人権を尊重し合う学校づくり			学校自己評価	学校関係者評価			
	氏 名	大洲 隆一郎											
校長本校在任年数			4 年										
学校関係者 評価委員会 委員長	ふりがな	あんの まさとし											
	氏 名	阿武 正俊											

昨年度の成果と課題	・不登校生徒への対応の充実を図るために、教育相談委員会を中核として情報共有を行うとともに校内及びSC・SSWとの連携を強化していく。 ・主体的な学びを育むため、地域との連携プログラム等を活用したPBLをさらなる推進を図るとともに学年や学科を横断的に組織するものなど活動の在り方を検討する。
-----------	---

評価項目	目標及び具体的な方策等		学校自己評価			取組状況・成果・課題	学 校 関係者 評 価	学校関係者評価委員会からの意見等	今後に向けての方針・改善点
	目標	具体的な方策							
教育課程・学習指導	ICTを活用した学習指導・観点別評価の一体化に向けた授業改善と校務の効率化の推進	職員間の情報共有におけるICTの活用や、校務支援システム・自動採点システム、生成AIの活用を促進することにより校務の効率化を推進する。							
		ICTの活用に関する研修や授業研究研修などの充実を図るとともに、各学科・教科との連携を強化し、指導と評価の一体化による授業改善を推進する。							
	学科改編・共学化に向けたカリキュラムの検討・準備の推進	社会・地域課題への取組や国際交流の充実などを取り入れたカリキュラムの作成に取り組む。 各委員会において、各学科・教科における観点別評価の要点を整理し、深化・充実を図る。							
生徒指導・人権教育	いじめ・不登校・中途転退学等の諸課題に対する組織的対応の充実	SCやSSW、通級指導教員等との連携強化により校内生徒支援体制の充実を推進し円滑な情報共有を行うとともに、保護者、学校外の諸機関等との連携を積極的に行い、生徒支援の充実を図る。 いじめの未然防止のための授業の研究・実践を行うとともに、各学期のアンケート等による情報収集・定期的な情報共有により早期対応に努める。							
		質の高い特設授業をめざし、生徒の実態に合わせたものとなるよう教材や講話などを研究し、事前研修等も含め全職員での取組を推進する。 現代における人権課題やアンケート等により把握した生徒の課題を踏まえた職員研修を実施し、人権意識並びに生徒支援の向上を図る。							
	豊かな人権感覚の醸成と一人ひとりを大切にする学校づくり	相互に認め合い高め合う温かい信頼関係を構築するために、生徒へ声掛けをするなどして校外におけるマナーや礼儀の向上を図る。							
進路指導	生徒の進路実現への意欲と意識を高める系統的・発展的なキャリア教育の推進	ガイダンスや面談など進路に関する行事をとおして、生徒の進路意欲を喚起し自立の心の育成を促すとともに生徒の進路目標の実現を図る。 進路実現に主体的に取り組む意識の涵養を図るために、「進路の手引き」を活用した指導や学年担任との進路情報共有を推進する。							
		各学年担任との連絡を密にし、生徒の状況把握や最新の情報提供をするなどして、多様な進路実現をめざす。 生徒の個別面談の実施をとおして、生徒の進路実現に向け情報把握およびサポートの充実を図る。							
	生徒の進路実現に向けた進路指導体制の充実								
魅力ある 高校教育の 推進	生徒の主体性を育む教育活動の推進	課題研究や総合的な探究の時間などにおける地域・企業・行政等と連携した取組や国際交流の取組を推進する。 委員会活動の活性化、生徒会および各クラスの実行委員による学校行事の取組や100周年記念事業に係る取組を推進する。 よりよい学校生活づくりをめざし、生徒と教員との意見交換などを行い、学校生活の充実と向上を図る。							
		本校の魅力を地域や保護者等に広く伝えるため、100周年記念事業に関連した企画などSNS等のコンテンツを工夫し情報発信の充実を図る。 高校一日体験等において、中学生および保護者等へ特色ある教育活動や学校改革に向けた取組などの情報の発信を継続して行う。							
		教育活動の魅力と特色を効果的に情報発信する広報活動の実施							

※ 学校自己評価は、5段階評価(A…目標を大幅に上回る達成度,B…目標を上回る達成度,C…目標どおりの達成度,D…目標を下回る達成度,E…目標を大幅に下回る達成度)で成果や取り組み状況等について記入すること。
※ 学校関係者評価は、学校自己評価について5段階評価(A～E)で評価すること。